

# システム・インフラ強化に向けた大証の取組み

平成 18 年2月6日

株式会社大阪証券取引所

## システム・インフラ強化に向けた大証の取組み

### (1) 新システムの稼動(別紙参照)

- 本システムは、日本の証券取引所としては最初の分散系で開発。
- 本年1月ヘラクレス市場(1月 30 日稼動済)、2月株式1・2部および先物・オプション市場の2段階で稼動(現行システム比7倍の能力)。
- 稼動後、直ちに能力の増強に着手・・・本年7～8月頃までにさらに2倍に増強(現行比14倍の能力)。

### (2) 運行管理体制の強化

- 17年10月、外部の専門家によるシステム監査チーム(5名)を設置し、開発並びに運行体制を常時チェック。
- 新システム稼動後にバックアップ体制の構築に着手するとともに、業務継続体制を見直し。

### (3) システム要員の増強

- 新システムの開発を機に、システムエンジニア約10名を中途採用。
- 本年4月、システム統括役員として金融システム専門家を外部(NTT データ)から招聘。

# (別紙)大証のシステム性能

< >内は既往ピーク処理件数

		新システム(2月全面稼働)			現行システム		
			株式 (ヘラクレス含む)	先物・オプション		株式 (ヘラクレス含む)	先物・オプション
売 買	処理能力(秒当たり)	450件	160件	290件	60件	40件	20件
	処理容量(一日当たり) 注文件数	400万件	260万件	140万件	170万件 <60万件>	120万件 <45万件>	50万件 <15万件>
	約定件数	250万件	130万件	120万件	120万件 <38万件>	60万件 <27万件>	60万件 <11万件>
清算	約定件数(1日当たり)	日本証券クリアリング機構に委託		120万件	日本証券クリアリング機構に委託		120万件